

【当院における身体抑制に関する基本的考え】

身体抑制は患者の自由を制限することであり、尊厳のある生活を阻むものです。

当院では、「人を大切によい医療・やさしいケア・安心を提供できる病院を目指します」の基本理念のもと、身体抑制をしない質の高い医療・看護の提供に向け、全力を尽くすことを宣言いたします。

そのために、職員一人ひとりが身体抑制による身体的・精神的弊害を理解し、身体抑制に至らない医療を実践してまいります。

1) 身体抑制は最終手段といたします。

ほかの手段や方法を試みたうえで、やむを得ない場合のみ実施いたします。

2) 患者の権利と尊厳を尊重いたします。

患者本人や家族に十分な説明を行い、同意を得ることといたします。

3) スタッフ間の連携を強化いたします。

情報共有やリスク評価を徹底し、チームとして一貫した対応を行います。

令和8年5月

安来市立病院

病院長 水田 正能

【当院における身体抑制最小化のための取り組み】

1. 身体抑制最小化チームの設置

構成員：医師、看護師（認知症看護認定看護師を含む）、薬剤師、
リハビリスタッフ、医療安全管理者、地域連携室担当者 等

2. 身体抑制実施状況の把握および院内周知

3. 身体抑制最小化のための指針の作成および見直し

4. 身体抑制最小化に向けた具体的な取り組みを検討するための委員会の開催

5. 身体抑制最小化チームによるラウンド、カンファレンス

6. 身体抑制最小化に関する職員研修の実施

【施】